

■南アフリカ：世銀が南ア火力発電に 37.5 億ドルの融資を検討

世界銀行は南アフリカの国営電力 Eskom が石炭火力発電所を建設し、供給信頼度を向上させるために 37.5 億ドル (3,740 億円) の融資に賛成するよう米国をはじめ各国に呼びかけている。「我々は南アフリカの電力危機を見過ごす訳にはいかない。これは同国経済にとって大きな影響を及ぼすだろう」と世界銀行のエネルギー担当ディレクター Jamal Saghir 氏は述べている。Saghir 氏によると 2010 年 4 月 8 日に世界銀行は融資の成否を決定するとしている。しかしながら、融資の一部は再生可能エネルギーやエネルギー利用効率化に使用されるものの、石炭火力発電所の建設は環境に悪影響を及ぼすとされ、米国などは融資に対して積極的ではないとされている。融資が認められると、Eskom が計画している Medupi 石炭火力発電所 (4,788MW) の建設に 30.5 億ドルが投じられることとなる。技術的問題やストライキによって工事の進捗は遅れているが、発電所は 2012 年の運開を予定していると 2010 年 3 月 26 日に南アフリカ公益事業省が発表している。